

市民と議員の意見交換会のふりかえり (議員の感想・意見)

◎良かった点

- ・ お菓子とお茶での雰囲気づくりで楽しく話げできた。
- ・ 若者世代も多かった。
- ・ 年齢層がバラバラのグループ分けて多様な意見を聞くことができた。
- ・ 反対意見もあったが、しっかり話合いができた。
- ・ グループの人数は5～6人で良かった。
- ・ ふせんを使用したことで意見が出しやすかった。
- ・ 一回目なので、おおむね良かった。

◎難しかった点、困った点

- ・ 説明が長く、話合いや発表の時間が足りなかった。
- ・ 時間配分が徹底されていなかった。
- ・ とにかく自分の意見を発言したい参加者の対応が難しかった。
- ・ 市の現状として「お金がない」と知らせると、参加者が意見を出しづらい。
- ・ グループの発表時にグループでまとめた内容を見視して自分の思いを話す参加者に驚いた。
- ・ テーマに沿っていない意見を話す参加者がいた。(ファシリテーションの難しさ)
- ・ テーマの周知不足
- ・ 市民の不安を煽らないようなテーマ選びが難しい。
- ・ 周知不足により、忘れて欠席した参加者がいた。
- ・ 障がい者の参加がなかった。
- ・ ラインやきたしるを見て応募した参加者は、テーマやグループワークで行うことを理解していたが、人を通じて申し込みをされた方が理解できていなくて戸惑ったのではないか。



◎次回に向けて（意見・提案）など

テーマ

- ・工夫して魅力あるテーマで、一つにしぼる。
- ・発言を明確にするためにテーマを絞ったほうが良いという意見がある一方で、テーマを絞りすぎると発言が出なくなるという意見もある。

開催方法

- ・各常任委員会ごとに実施する。
- ・半数の議員で複数回開催しても良い。回を重ねれば良くなる。
- ・広聴の場なので現場に出向いて話をする。
- ・職員の立会いがあってもいい。
- ・年齢別で開催しても良い。同じような意見ばかりになる可能性があるが、周りを気にせず発言しやすくなる。
- ・１テーブルの人数を減らして１人当たりの発言を増やす。
- ・テーマによって、障害のある方・子育てされている方等参加者をしぼって募集。

環境

- ・最初のアナウンスで小さなお子さんが泣いても良いという雰囲気を作ると良かった。
- ・託児所を設ける。
- ・お菓子は不要ではないか。

周知と理解

- ・参加者の口コミで良さが広がると良い。
- ・忘れていて当日欠席した参加者がいたので、どう対応していくか。
- ・資料を事前に配布して、前もって意見をまとめておいてもらう。
- ・発言の制限時間を守らない参加者がいたので、ルールを守ってもらえるよう、しっかり時間を告知する。

開催後の議会对応

- ・今回は広聴に重きをおいて実施したが、意見を伝えても反映してもらえないなら意味がないと思っている参加者もいる。
- ・意見をまとめ、推進協で協議して、意見書・要望書として提出し、市長の回答をＨＰで公開する。
- ・事務局頼みではなく、議員各自がもっと役割を担うべき。
- ・参加者の意見を議会はどう受け止めたかが問われる。会派や個人の議員活動の中で表現を。

